

## フラジール内服錠 250mg

### 【この薬は？】

販売名	フラジール内服錠 250mg Flagyl Oral Tablets 250mg
一般名	メトロニダゾール Metronidazole
含有量 (1錠中)	250mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗原虫剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、原虫の体内あるいは細菌内でニトロソ化合物に変化して、抗原虫作用および抗菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### 1. トリコモナス症（腔トリコモナスによる感染症）

#### 2. 嫌気性菌感染症

##### <適応症>

- 深在性皮膚感染症
- 外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
- 骨髄炎
- 肺炎、肺膿瘍
- 骨盤内炎症性疾患

○ 腹膜炎、腹腔内膿瘍

○ 肝膿瘍

○ 脳膿瘍

＜適応菌種＞

本剤に感性のペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、クロストリジウム属、ユーバクテリウム属

3. 感染性腸炎

＜適応症＞

感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）

＜適応菌種＞

本剤に感性のクロストリジウム・ディフィシル

4. 細菌性膣症

＜適応症＞

細菌性膣症

＜適応菌種＞

本剤に感性のペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス・フラジリス、プレボテラ・ビビア、モビルンカス属、ガードネラ・バジナリス

5. ヘリコバクター・ピロリ感染症

＜適応症＞

胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

＜適応菌種＞

本剤に感性のヘリコバクター・ピロリ

6. アメーバ赤痢

7. ランブル鞭毛虫感染症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にフラジール内服錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・脳や脊髄に器質的な疾患（脳膿瘍を除く）のある人
- ・妊娠3ヵ月以内の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・血液疾患のある人
- ・脳膿瘍のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・コケイン症候群の人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新た

に使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

#### 【トリコモナス症（腔トリコモナスによる感染症）の場合】

1回量	1錠
飲む回数	1日2回
飲む期間	1クール（治療期間）として10日間

#### 【嫌気性菌感染症の場合】

1回量	2錠
飲む回数	1日3～4回

#### 【感染性腸炎の場合】

1日量	1回1錠を1日4回、または1回2錠を1日3回飲みます。
飲む期間	10～14日間

#### 【細菌性腔症の場合】

1日量	1回1錠を1日3回、または1回2錠を1日2回飲みます。
飲む期間	7日間

#### 【ヘリコバクター・ピロリ感染症の場合】

アモキシシリン水和物、クラリスロマイシンおよびプロトンポンプインヒビター\*1の3剤併用で効果が無かった場合、この薬とアモキシシリン水和物およびプロトンポンプインヒビター\*1の3剤を一緒に飲みます。

\*1 ランソプラゾール、オメプラゾール、ラベプラゾールナトリウム、  
エソメプラゾールまたはボノプラザンのうちいずれか1剤

1回量	1錠
飲む回数	1日2回
飲む期間	7日間

#### 【アメーバ赤痢の場合】

1回量	2錠 *2
飲む回数	1日3回
飲む期間	10日間

\*2 症状により3錠になる場合があります。

#### 【ランブル鞭毛虫感染症の場合】

1回量	1錠
飲む回数	1日3回
飲む期間	5～7日間

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

**【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】**

- ・白血球減少や好中球減少があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われることがあります。
- ・中枢神経障害があらわれることがあるので、ふらつき、歩行障害（うまく歩けない）、意識障害（考えがまとまらない、判断力の低下）、構語障害（舌のもつれ、しゃべりにくい）、手足のしびれなどの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。
- ・末梢神経障害（手足のしびれ、手足の痛みなど）があらわれることがあるので、異常を感じたら、ただちに受診してください。
- ・肝臓に障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われることがあります。
- ・この薬を使用中にアルコールを飲むと腹痛、嘔吐（おうと）、潮紅などの症状があらわれることがあるので、この薬を飲んでいる間は飲酒を避けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

**副作用は？**

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
末梢神経障害 まっしょうしんけいしょうがい	物がつかみづらい、手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、歩行時につまずく
中枢神経障害 ちゅうすうしんけいしょうがい	頭の痛み、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない、しゃべりにくい、手足のふるえ
無菌性髄膜炎 むきんせいずいまくえん	発熱、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、吐き気

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス - ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス - ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、お腹が張る、背中の痛み、お腹にあざができる
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
好中球減少 こうちゅうきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
出血性大腸炎 しゅっけつせいだいちょうえん	発熱、ふらつき、息切れ、激しい腹痛、血が混ざった下痢
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、突然の高熱、寒気、ふらつき、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	頭の痛み、集中力の低下、物事が思い出せない・覚えられない、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい
眼	物がつかみづらい、目の充血やただれ
口や喉	しゃべりにくい、吐き気、唇や口内のただれ、嘔吐、喉の痛み
胸部	息切れ
腹部	激しい上腹部の痛み、お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振
背中	背中の痛み
手・足	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、歩行時につまずく、手足のふるえ
皮膚	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、お腹にあざができる
便	血が混ざった下痢

## 【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤 
PTPシート	 表面                      裏面
直径	10.8mm
厚さ	6.0mm
重さ	600mg
色	白色
識別コード	Ⓢ 763

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メトロニダゾール
添加物	コムギデンプン、グリセリン、メチルセルロース、水アメ、タルク、ステアリン酸マグネシウム、白糖、デンプングリコール酸ナトリウム、アラビアゴム末、ゼラチン、沈降炭酸カルシウム、安息香酸ナトリウム、カルナウバロウ

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：シオノギファーマ株式会社

販売会社：塩野義製薬株式会社(<http://www.shionogi.co.jp/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）